

令和5年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 スクール・ポリシー	<p>『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒 	<p>『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施 	<p>『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指すし、日々努力を重ねることができる生徒 誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒

3 評価する領域・分野	生徒指導部
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・アンケートより、昨年及び一昨年同様「学校ははじめや差別を許さず、厳しく対応している」の項目において、ポイントが低い。
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1)生命を尊重する心、道徳心を持った豊かな人間性、人としての基本的な倫理観や規範意識の育成 (2)部活動の推進 (3)関係機関や地域と連携した生徒指導の推進
6 重点目標を達成するための校内組織体制	生徒指導部会、特別生徒指導委員会、学年会、教科担任会議、サポート会議、いじめ防止等対策委員会、人権委員会

7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標
<p>(1)「いじめ防止等対策委員会」の内容の充実。あらゆる教育活動の場面で、いじめは絶対許さない」姿勢を生徒に訴えかける。いじめアンケートの結果等を基に、解決に向けて、積極的に生徒に関わる。</p> <p>(2)部活動を通じ基本的生活習慣や挨拶活動を徹底させ、帰属意識を持たせることで自己有用感を持たせる。</p> <p>(3)PTAと協力し朝の交通安全指導や挨拶活動を実施する。</p>	<p>(1)いじめ防止等対策基本方針 いじめ防止等対策年間計画 いじめ防止等対策教員研修会 いじめ防止等啓発活動 (授業、HR活動、行事、部活動、集会等)</p> <p>(2)部活動実績、部活動による清掃活動・挨拶運動</p> <p>(3)交通事故発生件数、MSL報告書 美濃地区「高校生による交通安全推進大会」の企画・運営</p>

9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<p>(1)いじめ防止等対策委員会、いじめ防止等教員研修、心理検査の活用など</p> <p>(2)部活動リーダー研修会、部顧問会議</p> <p>(3)生徒指導講話、交通安全講話、啓発活動</p>	<p>(1)充実した内容となり、教員の意識も高まってきた。</p> <p>(2)部活動の実績も上がり、帰属意識も増してきた。部単位での善行が増えてきた。</p> <p>(3)PTAとの協力体制が整いつつある。</p>	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>

12 成果・課題	<p>○いじめについて、件数は多くはないが本年度は2年生、3年生に起こった。クラスや部活動において、いじめに該当する具体的な事例を知らせ、予防策を行い未然に防ぎたい。</p> <p>●交通事故については、今年度も自損の案件が多く見られた。</p> <p>○今年度も、長期欠席する生徒に対する指導について、HR担任、教育相談、部活動顧問等の関係職員で情報共有するなど、連携して指導することができた。</p> <p>○コロナ禍も終わり、情報モラル講演会、薬物乱用講座などが、リモートではなく、対面にて実施することができた。また、MSL活動も例年通り実施することができた。</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
----------	---	------------------------------

13 来年度に向けての改善方策案

- ・校則の見直しについて、時代に合った内容にすべく、さらに生徒会と共に検討を進めていきたい。
- ・「いじめ防止」、「情報モラルの徹底」、「交通事故の減少」などの今年度の課題解決に向けて、起こさないための事前の予防的な指導を行う。さらには、生徒の良さを日常の活動から発見・自覚させ引き伸ばしていく開発的指導を心がけたい。
- ・教育相談、いじめ対策について、教職員間の迅速な連携に努め、保護者とのやり取りも密に行う。
- ・発達障害やそれと疑われる生徒に対して、保護者の協力を得ながら、個に応じた配慮を全職員が共通理解し、指導にあたる。
- ・体育祭、文化祭などの生徒会行事の内容、取り組みなど、さらなる充実を目指したい。

II 学校関係者評価

実施年月日 令和6年1月29日

【意見・要望・評価等】

- ・生徒指導の方針の一つである「道徳心をもった豊かな人間性」の指導に力を入れてほしい。
- ・自転車通学時におけるヘルメットの着用については、現在努力義務となっているが、ぜひ着用についても指導をしてほしい。